令和５年度

家庭基礎

１１　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必履修	2	6	6	2

教　科　書	学習書・副教材等
家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）	LIFE　おとなガイド（教育図書）

学　習　目　標

１．人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
２．学習した知識や技術を活用し，ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の視点から，家庭や地域の生活課題を主体的に改善・創造する態度を育成する。
３．家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

学　習　内　容　・　学　習　計　画

第１・２章	生涯を見通す　人生をつくる	（第１回レポート）	前期試験範囲
第４章	超高齢社会を生きる	（第１回レポート）	前期試験範囲
第５章	共に生き，共に支える（前編）	（第１回レポート）	前期試験範囲
第６章	食生活をつくる（前編）	（第２回レポート）	前期試験範囲
第６章	食生活をつくる（後編）	（第３回レポート）	前期試験範囲
※ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		（第１・２回レポート）	
第３章	子どもと共に育つ（前編）	（第４回レポート）	後期試験範囲
第３章	子どもと共に育つ（後編）	（第５回レポート）	後期試験範囲
第５章	共に生き，共に支える（後編）	（第５回レポート）	後期試験範囲
第９・10章	経済生活を営む・持続可能な生活を営む	（第５回レポート）	後期試験範囲
第８章	住生活をつくる	（第６回レポート）	後期試験範囲
第７章	衣生活をつくる	（第６回レポート）	後期試験範囲

学　習　方　法

レポートは教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので，その部分をよく読み，理解して解答してください。空欄３つ以上でＥ評価になります。
スクーリングではレポートに沿ってプリントを用いて進めていきます。レポートの作成に役立ちますので，積極的に出席しましょう。平日スクーリングでは、実習や消費生活に関する講義を受講し，学びを深めていきます。貴重な体験ができると思いますので，是非参加してください。
試験はレポートの内容から出題します。レポートの内容を繰り返し学習してください。

評　価　規　準　と　評　価　方　法

レポートの評価，試験の成績を総合して評価します。
6 回のレポートすべてが合格し，授業に 6 時間以上出席し，試験の平均点が 30 点以上であることが，単位認定の目安です。レポート評価は以下の観点から行います。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

担　当　者　よ　り　一　言

家庭基礎の学習内容は実生活に密着しています。皆さんのこれからの生活に役立つ内容を取り上げていきたいと思いますので，楽しんで学習してもらえたら嬉しいです。